



この国の「制度のインフラ」をつくる

総務省自治行政局
選挙部管理課課長補佐

中尾 正英 NAKAO Masahide

平成 17年 4月 総務省自治行政局公務員部福利課
8月 富山県経営管理部市町村課
平成 18年 4月 同 経営管理部市町村支援課
平成 19年 4月 総務省消防庁予防課危険物保安室
平成 20年 4月 同 自治行政局選挙部選挙課
平成 22年 4月 宮崎市総務部長
平成 23年 4月 同 企画財政部長
平成 24年 4月 復興庁統括官付参事官付
平成 26年 4月 福井県総務部財務企画課長
平成 28年 4月 総務省自治財政局財務調査課課長補佐
平成 29年 7月 同 自治行政局選挙部選挙課課長補佐
平成 30年 7月 現職

度も、具体的に執行するのは地方です。これは、行政が担う施策全般に言えることです。だからこそ、制度をつくる立場として、地方の実情を知らなければ、どのような制度を設計しても画餅になりかねません。

私自身、これまで、富山県、宮崎市、福井県に赴任してきました。財政に関係する仕事という共通項はありましたが、一般職員と管理職という職責の違い、県と市という権能の違い・果たすべき役割の違いを身をもって経験できました。また、幅広い分野に触れる中で、公私にわたり忌憚なく接することができる人間関係ができました。これらは、今、私が地に足をついた仕事を行ううえでの貴重な資産になっています。こうした経験ができるのも、総務省の大きな魅力だと思います。

総務省の果たすべき役割

行政は、国と地方がそれぞれの役割を持っており、どちらも欠くことができません。地方制度を所管する総務省は、地方が個々の行政分野でその力を最大限に発揮するための基盤となる仕組みを考へることが求められます。これは、いわばこの国の「制度のインフラ」です。幅広い行政分野の基礎となるインフラづくり、私たちと一緒に担ってくれるあなたを待っています。



駅前子どもと遊ぶ



民主主義の根幹をなす仕組み — 選挙 —

選挙部の仕事で一番イメージしやすいのは、国政選挙の管理執行でしょう。言うまでもなく、選挙は、民主主義の根幹をなすものです。主権者たる国民の意思が正しく反映されなければなりません。

そのため、ミスのない管理執行、制度・運用両面からの投票しやすい環境づくりを進めています。昨年は、統一地方選挙、参議院選挙の2つの大きな選挙が行われた、12年に一度の当たり年でした。緊張感のある毎日でしたが、無事に選挙が執行され、心から安堵しました。

日本の選挙の歴史は、昨年、130年を迎えました。民主主義の根幹をなす仕組みの一端を担う者として、歴史の重みを感じつつ、人口減少や働き方改革の要請、ICTの発達など時代の変化にも柔軟に対応する、このような信念のもと日々仕事をしています。

地に足のついた仕事をする

さて、その選挙。投票した方は、市町村職員が事務を行う姿を目にしたと思います。国の根幹たる制

現場最前線を支える

総務省(地方自治分野)の業務は、地方自治体が必要とする上で必要な基礎・基盤となる仕組みを調える縁の下の仕事です。

私が携わっている「消防・防災」の分野は、原則として市町村が担うこととされており、住民に直結したまさに現場最前線。

総務省消防庁は、消防・防災行政の礎として、法令などの整備や大規模災害に備えた資機材の配備などの取組みを推進しています。そして、ひとたび大規模な災害が発生すれば、被災した地方自治体や消防本部と連携して被害状況を迅速に把握し、また、全国から集う消防隊(緊急消防援助隊)が円滑に現場活動を行うための支援など、災害対応の司令塔としての役割を果たしています。

顔の見える関係

災害が発生した時、国と地方自治体が迅速かつ的確な対応を行うためには、平時から両者間の連携を強化し、「顔の見える関係」を構築しておく必要がある、と言われています。

私たちは様々な研修や訓練を通じて関係構築に努めていますが、特に地方自治分野に携わる職員としての強みは、いくつかの地方自治体への赴任経験

を通じて、それぞれ地域と親密な関係を築いていることにあり、この関係は大きな力となり、迅速な災害対応に貢献しています。

暮らしを肌で感じる

地方自治体に赴任する意義は、一住民として、そこにある暮らしを肌で感じられることにあり、そこに

福祉や教育そして消防・防災など、住民に密着した行政サービスを総合的に提供する現場で、場合によっては一から制度を学び、携わっている地域の課題解決に向けて、施策を実行していくことはとてもやりがいがある仕事です。

また、20代、30代の若いうちから、対住民、対議会など、練り上げた政策、事業を外部的な人に分かりやすく伝え、共に行動する周囲の人を動かしていく、という経験をするを通じて、自分自身の人間の幅を広げていくことができていると思っています。

未知なる場所での挑戦

長崎県、石川県七尾市、沖縄県、これまで縁もゆかりもなかった地域は、全て私の「第2のふるさと」になりました。

自分が生まれ育った場所以外にも、気にかかる場所、そこに暮らす人の顔を思い起こせるふるさと

がある仕事、魅力を感じる方はぜひ、総務省の門を叩いてほしいと思います。



子ども観ヶ関デーに家族で



家族で旅行へ

地域との繋がりを最大限生かす

総務省消防庁総務課課長補佐

田中 克尚 TANAKA Katsuyoshi

平成 17年 4月 総務省自治財政局地方債課
8月 長崎県地域振興部市町村課
平成 18年 4月 同 総務部財政課
10月 総務省消防庁国民保護・防災部防災課
平成 19年 7月 内閣府公共サービス改革推進室
平成 20年 6月 総務省自治税務局都道府県税課
平成 21年 4月 同 自治税務局企画課
平成 22年 4月 七尾市企画経営部長
平成 24年 4月 沖縄県総務部財政課財政企画課長
平成 25年 4月 同 企画部地域・離島課長
平成 28年 4月 総務省消防庁国民保護・防災部防災課災害対策官
平成 29年 8月 総務副大臣秘書官
平成 30年 10月 総務省自治行政局選挙部政治資金課課長補佐
令和 元年 7月 現職

